

4-1 災害の防災や復旧の取組

(1) 地域の農業用施設の保全 【資源向上活動】



① 施設の保安全管理

- 既存の取水堰の異常気象後の見回り・応急措置について、活動組織で対応。
- 平成27年9月の豪雨被害では、国、市の災害復旧事業と交付金を活用し、復旧活動を実施。



② 野生獣害防護柵の設置及び管理

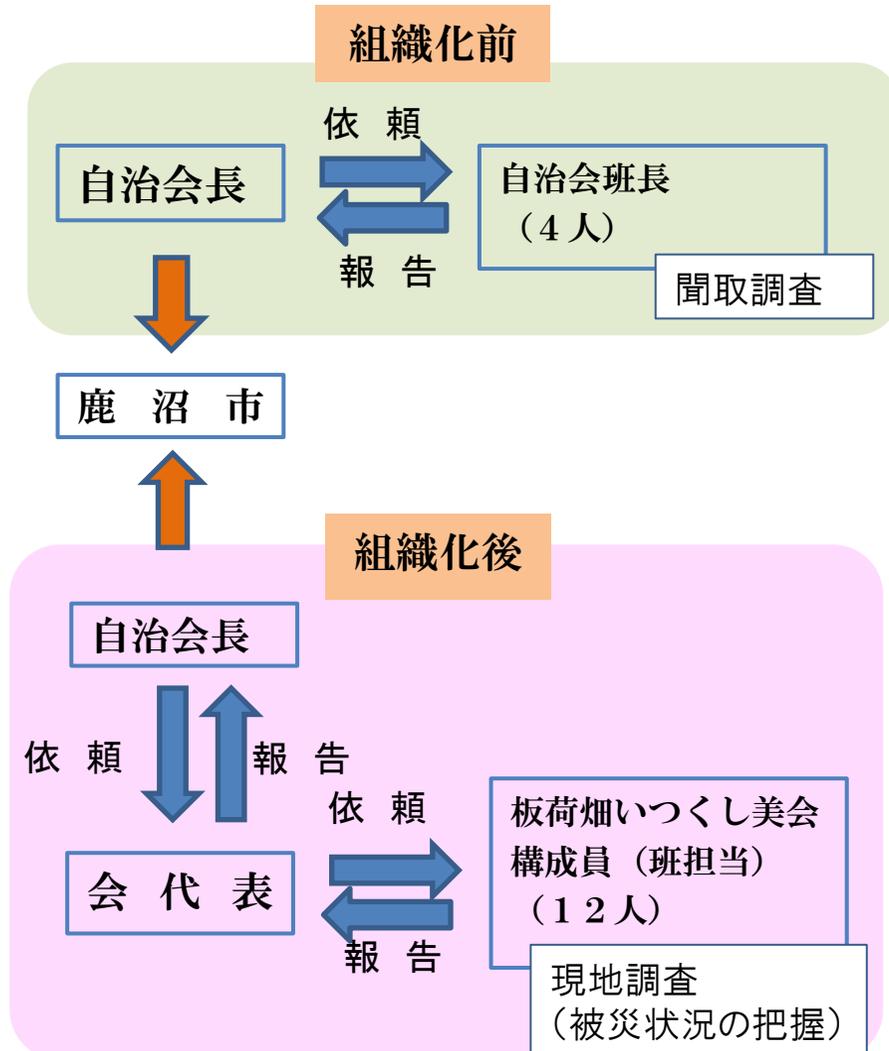
(平成21年度～23年度)

地域全体を囲うように山林と農地の境界をワイヤーメッシュによる防護柵を設置(総延長5.4km)

※防護柵の設置は、農家負担と市の鳥獣害防止対策事業を活用

◆宇都宮大学との連携

(2) 平成27年9月関東東北豪雨による地域の被害状況と対応



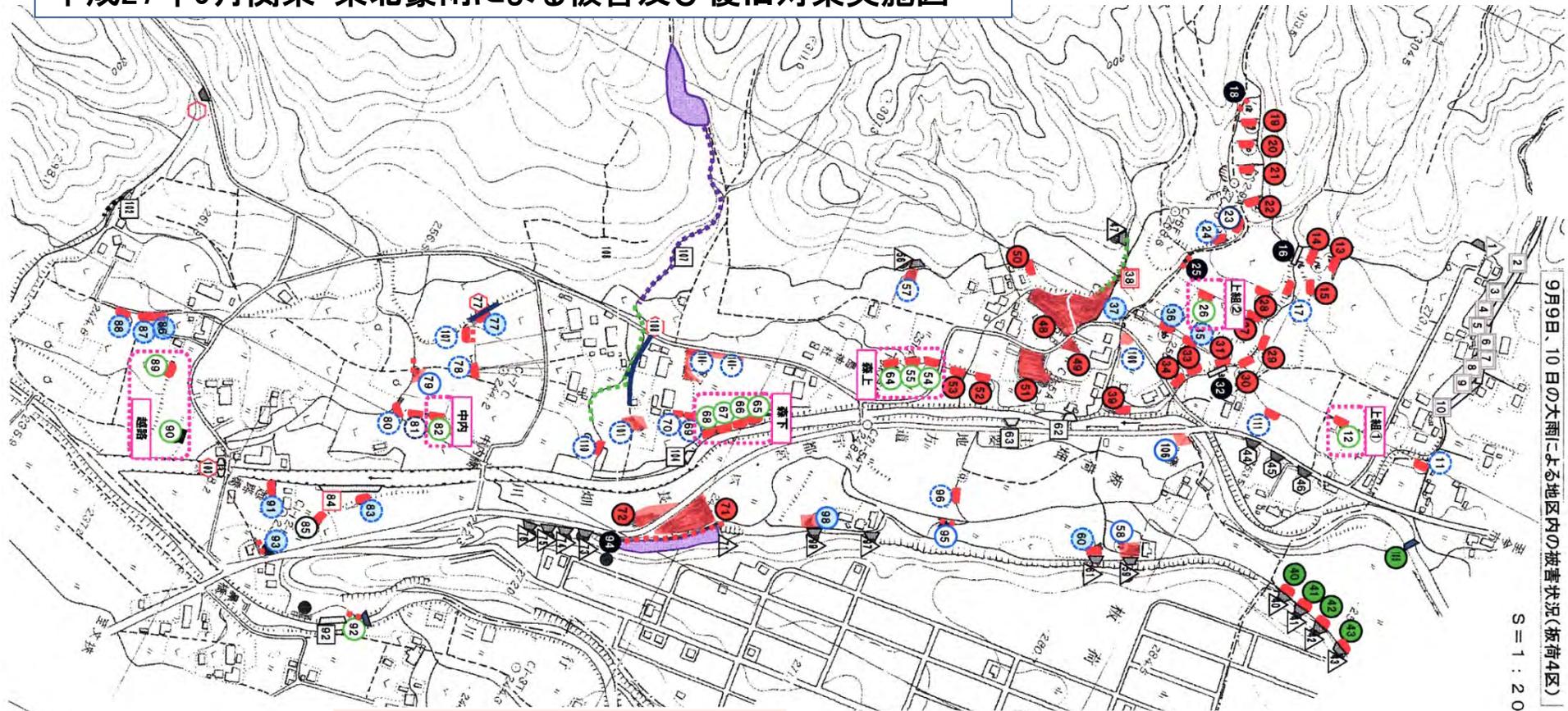
問題点

- ①被害状況の情報が概略なうえ被害状況の確認に時間がかかる。
- ②被害状況把握に漏れがあった。
- ③被害箇所の状況が地域全体では把握していない。
- ④被害箇所の復旧は個人対応

改善点

- ①異常気象後の地域の被害状況確認が迅速かつ詳細に把握できるようになった。
- ②被害状況把握に漏れが無くなった。
- ③構成員が被害箇所の情報を持ち寄り情報が共有されている。
- ④災害復旧対策を地域全体で取り組むようになった。

平成27年9月関東・東北豪雨による被害及び復旧対策実施図



9月9日・10日の大雨による地区内の被害状況(板荷4区)

S = 1 : 2000

凡例①		凡例②(復旧実施方法)	
農地	○	国庫事業	●
農業施設 (水路等)	●	市補助事業	○
道路	◇	交付金による復旧	○
河川	□	個人による復旧	○
山林	△		

○平成27年9月関東東北豪雨災害時の状況

地域の被害状況



農業施設の被害状況



異常気象後の見回り



○関東・東北豪雨災害時の地域対応(交付金活動)



調査実施(機能診断)



流入土砂の撤去作業



地域の災害対策会議



崩落した法面の応急措置



復旧作業に集まった構成員



流木の撤去作業

地域の農業関連施設被害 76箇所

- ・ 復旧状況
国、市災害復旧事業 43 箇所
交付金及び個人で復旧 33 箇所
- ・ 被害の大きい施設は災害復旧事業により復旧することができました。
- ・ それ以外は個人や交付金を活用した活動に取り組み、28年産の水稲作付けを実施することができました。
- ・ これも地区の皆さんの地元愛があつてこそ。「地域の宝」です。



4-2 環境保全の取組

(1) 耕作放棄地の解消

野生動物の温床解消を目的に、県や市の耕作放棄地解消対策と連携し、技術指導や器具支援を得て和牛放牧を実施。

◆行政との連携
【他事業との連携】



【耕作放棄地防止対策】

牛の放牧による雑草除去、放棄地復元作業、復元後の菜の花播種、種の収穫作業



和牛放牧による耕作放棄地の解消

実施期間 平成23年5月1日～10月30日
実施面積 5,870㎡(13筆)